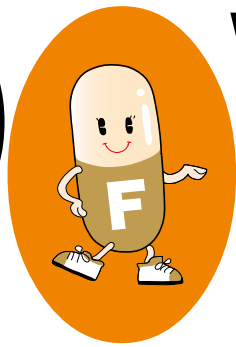


POWER!



2022年
3月
vol. 79

令和4年(2022年)
3月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月発行

<http://www.yakuren.jp>



山口県(1月18日~21日)



岡山県(2月1日~3日)



神奈川県(2月9日~18日)

新型コロナウイルス感染症は、昨年12月中旬に市中感染が確認されたオミクロン株による感染が年明けから急拡大し、1月9日に3県、1月21日に13都県、1月27日に18道府県、2月5日に1県にまん延防止等重点措置が実施されており、医療提供体制の確保と感染防止対策の徹底、3回目のワクチン接種が急がれている。このような中で神谷まさゆき副会長の訪問活動は、広島県は延期となったが、山口県はリアル訪問とウェブ訪問を併用し、岡山県は薬局訪問は中止としてウェブ会合等を開催し、神奈川県は薬局訪問



かみや 神谷まさゆき副会長 活動報告(13)

を中心に実施した。

1月から2月中旬にかけての 支部訪問活動!

● 山口県(1月18日~21日)

初日は山口市と宇部市の御事業所2か所を訪問した後、県薬剤師連盟を拠点に柳井支部、光支部、下松支部、徳山支部の薬局27か所と山口赤十字病院をリモート訪問し、夜には山口県薬剤師連盟フォーラム2021(ウェブ、62名参加)が開催された。二日目は徳山支部、新南陽支部、防府支部、吉南支部、山口支部の薬局18

か所を県薬剤師連盟からリモート訪問、15か所をリアル訪問し、県薬剤師会が県から委託を受けている「ワクチン接種専門相談センター」を見学した。また、夜には神谷副会長の出身大学の福山大学同窓生による励ます会(ウェブ併用、22名参加)が開催された。三日目は山口市の御事業所3か所を訪問した後、宇部支部、山陽小野田支部、美祿支部、下関支部の薬局34か所を訪問し、夜は下関支部定例会(ウェブ併用、60名参加)に参加した。四日目は下関市の御事業所1か所を訪問し、下関支部、長門支部、萩支部の薬局29か所を訪問した。

● 岡山県(2月1日~3日)

初日は病院薬剤師との懇話会(ウェブ、48名参加)に参加し、意見交換を行った。二日目は県薬剤師連盟の役員等による神谷まさゆきを囲む会(ウェブ、50名参加)に参加した。三日目は岡山市薬剤師会理事会(ウェブ、16名参加)でリモート挨拶した後、県薬剤師連盟青年部・女性部による交流会「カミヤトーク」(ウェブ、20名参加)に参加し、意見交換した。

● 神奈川県(2月9日~18日)

初日は小田原市の薬局16か所を訪問し、夜は県薬剤師連盟総務会(24名参加)

で挨拶した。二日目は川崎市川崎区と幸区の薬局41か所、AOI国際病院と川崎市立病院を訪問し、夜は川崎市薬剤師会理事会(ウェブ、23名参加)で挨拶した。三日目は鎌倉市の薬局23か所、厚木市の薬局17か所と厚木市立病院を訪問した。四日目は秦野市の薬局19か所と伊勢原市の薬局17か所、伊勢原市の御事業所1か所を訪問し、夜は相模原市薬剤師会理事会(ウェブ、20名参加)で挨拶した。五日目は横須賀市の薬局49か所、御事業所2か所と神奈川県立歯科大学病院を訪問した。六日目は平塚市の薬局17か所と茅ヶ崎市の薬局22か所を訪問した

支部訪問と並行して

都道府県の会合へも参加!

1月中旬から2月中旬までに開催された都道府県主催の会合への参加は次の通りであった。

大分県豊後大野支部研修会(ウェブ)、宮城県(薬剤師フォーラム2021:リアル)、福井県(薬剤師連盟総務会)、福島県(薬剤師連盟総会:動画対応)、青森県(若手薬剤師フォーラム:ウェブ)、香川県(薬剤師会理事会:ウェブ)、愛知県(薬剤師指導者育成フォーラム2022:ウェブ)。

その他の活動!

都道府県主催の会合のほか、2月6日には日本女性薬剤師会都道府県会長連絡協議会で挨拶(ウェブ)、2月7日には日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会(ウェブ)で挨拶、2月8日には製薬政治連盟第1回PMセミナーで挨拶、2月14日には城西大学で講義(録画配信)、2月19日には福山大学で講演(ウェブ)を行った。

毎日の活動を Facebookページに掲載!

神谷副会長は、毎日の活動状況を写真とともにFacebookページ「神谷まさゆきの活動日誌」に掲載している。是非閲覧願います。



風力計



日本薬剤師連盟
四国ブロック総務 久間 一徳

過去から現在そして未来へ

昨年6月よりブロック総務(四国)を拝命いたしました香川県薬剤師連盟の久間一徳です。香川県薬剤師連盟会長交代に伴い、安西前会長より引継ぎました。任期途中の交代で不慣れではありますが、一杯日本薬剤師連盟の活動に尽くしたいと考えています。よろしくお願ひします。

今思い返せば、私の祖父(既に他界)は地元県議会議員や国会議員の選挙活動や後援会活動に積極的に取り組んでいました。そして選挙投票日には、必ず投票に行くという言われ、私にとってはそれが当然と考えていました。身近でそのような祖父の姿を見ながら育った私ですが、若い頃は「誰が政治家になっても世の中はさほど変わらないだろう」と考えていた自分がいました。現在、薬剤師として働く中、今更ながらではありませんが政治力の重要性を身をもって感じます。

薬剤師の地位を築くために、多くの先輩たちが政治の力も借りながら苦勞されてきたことに対して頭の下がる思いです。現在も若い方たちの中に、政治に興味がなく投票にも行かない状況が多く見受けられるような気がします。「薬剤師職能、立場」は未来のある若い薬剤師のためにも今後さらに発展させなければいけないと考えます。政治に興味がない、無関心な方たちに対していかに関心を持ってもらうか、難しい課題ではありますがこれから知恵を絞り、取り組んでいく覚悟の今日この頃です。

JPLフォーラム2022が開催される!!

令和4年2月11日(金)、JPLフォーラム2022が『今こそつなごう、女性の力』をテーマに開催された。東京都などでもまん延防止等重点措置が適用されていることから、AP日本橋のスタジオは挨拶や運営の担当の方々のみとし、完全ウェブでの開催となり、来賓3名、役員・企画実行委員31名、全国より47名の女性薬剤師が参加した。

司会は、小屋敷企画実行委員が担当し、荻野副会長の挨拶で13時10分に開会。



来賓挨拶
(とかしきなおみ前衆議院議員)



来賓挨拶
(近藤由利子日本女性薬剤師連盟会長)



開会挨拶
(荻野構一副会長)

来賓として、近藤由利子日本女性薬剤師連盟会長、とかしきなおみ前衆議院議員より、それぞれ神谷まさゆき副会長を応援する挨拶があった。

特別講演

その後、本田顕子参議員議員より、「全国比例選挙を通じて感じた1票の重み」と題して講演があり、薬剤師二人体制の重要性や、顔の見える関係の人から確実な票を増やすことの大切さについて述べられた。



特別講演
(本田顕子参議員議員)

決意表明

続いて、神谷まさゆき副会長が登壇し、全国キヤラバンで感じた思いやこれからの薬剤師・薬業界への熱い思い、そして必ず未来につなげたいという強い決意が表明された。



決意表明
(神谷まさゆき副会長)

グループディスカッション

橋本常任総務から、私たち女性の力で、全国に神谷まさゆき副会長の名前を知らしめ、ファンになってもらうというフォーラムの目的と趣旨説明が行われた。14時からブレイクアウトルーム機能を使い、A～Fまでの6ブロックに分かれ、企画実行委員がチューターとなり『広げようサムシンググリーン』をテーマにディスカッションが行われた。

グループ	ブロック	チューター(企画実行委員)
A	北海道・東北	斉藤・藤谷
B	関東・東京	福嶋
C	北陸信越・東海	梶浦・吉田・金井
D	近畿・大阪	伊藤・大桑
E	中国・四国	竹本・高島
F	九州	田城

SDGでは次の3つの内容について協議し、これからの活動につなげることを目標とした。

- ①各都道府県で、これから7月までに何をやるか。
- ②各都道府県で、薬剤師連盟会長・幹事長に対して行うJPL報告会の日程を決める。
- ③これからの活動の進捗状況確認や相談のため、ブロックごとに毎月WEB



趣旨説明
(橋本昌子常任総務)

A (北海道・東北ブロック)



グループ	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
関東ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
北陸信越・東海ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
近畿・大阪ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
中国・四国ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
九州ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6

B (関東・東京ブロック)



グループ	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
関東ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
北陸信越・東海ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
近畿・大阪ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
中国・四国ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
九州ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6

C (北陸信越・東海ブロック)



グループ	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
関東ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
北陸信越・東海ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
近畿・大阪ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
中国・四国ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
九州ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6

D (近畿・大阪ブロック)



グループ	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
関東ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
北陸信越・東海ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
近畿・大阪ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
中国・四国ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
九州ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6

E (中国・四国ブロック)



グループ	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
関東ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
北陸信越・東海ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
近畿・大阪ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
中国・四国ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
九州ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6

F (九州ブロック)



グループ	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
関東ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
北陸信越・東海ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
近畿・大阪ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
中国・四国ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6
九州ブロック薬剤師	2/28	3/11	3/25	4/8	4/22	5/6



令和4年2月2日、神谷まさゆき中央後援会主催の「事務担当者会議」が13時30分より行われた。この会議は中央後援会と都道府県後援会との連携を図るために開催されているもので、全国の事務担当者が本来であれば一同に介して行



ものであるが、昨今の事情により今回はWEBで行われた。定刻に中央後援会浜田副会長の司会で始まり、最初に山本会長より日頃の後援会活動に対するお礼と共に、引き続きの協力依頼の挨拶があった。

次に「公職選挙法と後援会活動について」と題し、日本薬剤師連盟の橋爪顧問弁護士よりご講演をいただいた。まず政治活動と選挙運動との違いが説明され、実際にあった違反例を挙げながら文書違反・買収・インターネットを使った運動等についての注意点が述べられた。続いて荻野副会長より「今後の後援会活動に関するスケジュールについて」、大澤副会長より「支援者名簿の入力等について」及び「選挙活動マニュアルについて」、島海副会長より「SNS対策について」、石井副会長より「支援団体等について」それぞれ説明がなされた。そして質疑応答が行われた後に、川田副会長より閉会挨拶とコールが行われ終了となった。また、1月31日には、都道府県の幹事長を対象として、「選挙活動マニュアル(案)」の説明会がWEBで開催された。あと3ヵ月間、共に頑張りましょう！

「事務担当者会議」・「選挙活動マニュアル説明会」がWEBで開催される

会議を開催するため担当者や日程を決める。また、神谷副会長は、順番にグループに入り交流した。15時40分各グループからの発表の後、16時10分から岩本幹事長の総評があり、このままではいけない、これから7月にむけて全力で頑張らなければならないと厳しく愛のある激励があった。その後、愛知県薬剤師連盟 原和子先生のコールで全国の女性薬剤師が心を一つにし、山本会長の閉会挨拶で終了した。



閉会挨拶 (山本信夫会長)

比例代表は政党名ではなく必ず！候補者名を書こう！

参議院議員選挙は「選挙区選挙」と「比例代表選挙」があります。比例代表選挙では当選させたい候補者の獲得票が多ければ多いほど、党内候補の順位が上がります。

1枚目 選挙区選挙の投票

2枚目 比例代表(全国区)

比例代表選挙は名前を書かなくとも政党内順位が上がるという仕組みです。

もとゆき Report 藤井もとゆき国会レポート

参議院議員・薬剤師・薬学博士
参議院自由民主党政策審議会議長 藤井基之

感染抑制と社会経済活動の両立に向けて

新型コロナウイルス感染症の第6波はピークを過ぎつつありますが、減少スピードは思いのほか遅く、感染者の絶対数は多く死亡者数も高いレベルにあります。政府はワクチンの3回目ブースター接種を急ぐとともに、経口治療薬を確保し、高齢者や基礎疾患を有するハイリスク患者の重症化防止に努めています。

一方、日本より一足早く感染のピークを迎えた欧米等では、英国首相がイングランドでのコロナウイルス陽性者の自主隔離等の行動規制を、ワクチン接種が進んでいることなども考慮して、2月24日をもって撤廃することを明らかにする等、国民の行動制限を緩和して社会経済活動を再活性化するための取組を始めています。

日本においても、昨年11月から強化していた水際対策を3月1日から緩和し、原則禁止だった外国人の新規入国をビジネス関係者や技能実習生など観光目的以外の入国を認めることとなりました。また、入国後7日間の待機期間もワクチン3回接種などの条件を満たせば免除、または3日間に短縮しました。ただし、1日当たりの入国者数の上限は5千人程度まで引き上げたものの、その枠組みは残るところとなり、経済界からは更なる緩和を求める声が上がっています。

オミクロン株の特性や諸外国の規制との調和等も考慮して、感染抑制と社会活動の両立を見据えた対応を進めていくことが極めて重要となっています。またその成否は、夏の参議院議員選挙の結果にも大きな影響を及ぼすものと思います。

オレンジ日記

自由民主党副幹事長・女性局長代理
参議院議員・薬剤師 本田顕子

予算委員会で質問

3月3日(木)に開催された参議院予算委員会において質問の機会をいただきました。

ロシア軍によるウクライナ侵略が継続されている情勢であったため、まず、ウクライナ情勢について質問しました。過去の経験がある日本が平和の大切さを一番知っているのも、平和に向けた対策を政府にお願いし、外務省と経済産業省から答弁をいただきました。

次に、コロナ対策について、3回目のワクチンの接種状況、水際対策の段階的緩和、国内開発医薬品の海外展開への支援策、小中高における公衆衛生教育の必要性、健康危機管理庁の新設について担当省庁に質問しました。ワクチン接種についての答弁の中で、島村大厚労政務官からワクチンの分注などに携わっている薬剤師への感謝の言葉が述べられ、また、公衆衛生教育についての答弁の中で、末松信介文科大臣から学校薬剤師による指導の充実の重要性について発言されたことは、予想していなかった答弁であったため、とてもうれしく受け止めました。

最後に、後発医薬品の安定供給に向けての予算措置などについて後藤茂之厚労大臣に質問しました。2年以上にわたる供給不足に対して現場の薬剤師や薬局から悲鳴の声を聞いていること、令和4年度政府予算案に後発医薬品の使用促進事業と信頼性確保事業が盛り込まれているが、現場の関係者にとって納得できる予算であると考えてよいのかなどを質問しました。後藤大臣からは、予算の内容、品質確保のための調査体制の強化などについて答弁をいただきました。

後発医薬品はもとより、医薬品の安定供給が確保されるよう、引き続き国政の場で声をあげて行くこととしています。

「ヒューマン」神谷まさゆきをたずねて

神谷まさゆき副会長の人となりを読者の皆さんに知っていただくため、神谷まさゆき副会長とお付き合いのある方々より、神谷副会長に對する率直な印象などを語っていただくことにした。是非ご一読いただきたい。



- ① 神谷副会長の第一印象は真面目で堅い印象を受ける方が多いと思いますが、実際に身近でお付き合いされて、彼はどんな青年でしょうか？
- ② 当時のエピソードがあれば教えてください。
- ③ 組織内候補になったと知った時、どう思われましたか？
- ④ これからの神谷副会長に期待すること。
- ⑤ 全国の薬剤師に向けてのメッセージをお願いします。

これぞ！一心同体の親友&戦友です

◆音藤晃雄さん



北海道薬剤師連盟 幹事長 / 日本薬剤師連盟 企画実行委員

① 彼が35歳の時に初めて出会った時から絶対に彼は将来、私たち薬剤師職能の代表候補者に最適だと思わせる見た目の誠実、真面目、責任感の強い好青年です！

初めて見た時の印象は演歌歌手の山内恵介に似たなと思いました。

② 彼は7年前の企画実行委員会、初めて出会って3期6年間一緒に藤井選挙・本田選挙を戦いました。共に元エーザイMRで父親から小さな街の薬局を受け継いだという経歴が一緒で、年齢は私の方が一回りほど下ですが、本当に出会った頃から気が合う良き友人です。3期6年間一緒に企画実行委員を担当したのは神谷君と私だけで、選挙開票日当日の朝方4時頃の当選発表の瞬間まで眠らずに藤井選挙・本田選挙の勝利の瞬間を共に過ごしました。次はキミだよ！と藤井選挙の時に本

気で言ったのをよく覚えています。

③ 最適だと心から思いました。彼が組織内候補なら私も何があろうと責任もって最後まで企画実行委員を継続しよう！とすぐに思い、現在4期目の企画実行委員を継続させていただいております。

④ 無理をしないで今、出来ることをしっかりやっていただければいいです！背伸びせずに一歩ずつ確実に成長して欲しいです。周りから何と言われようと私たちチーム神谷は全力でサポートしていきます。まずは体調管理を最優先に長期戦を乗り越えて欲しいです。

⑤ 私たちが公募の上で何度も面接、選考を繰り返して全会一致で公認した組織内候補者です。誰のために名簿記入や応援するのでしょうか？それは自分たちのためです！人生を賭けて代表として立ち上がってくれた「神谷まさゆき」を職域に関係なくALL薬剤師で支えていきましょう。特に同世代と次世代の薬剤師、薬学生のみならず、一致団結して立ち上がる時です。薬剤師職能という自分たちの未来は自分たちで作らしましょう！

過去は振り返らない。薬剤師の未来を切り開く

◆吉田英樹さん



富山県薬剤師連盟 幹事長 / 日本薬剤師連盟 企画実行委員

① 初めてお会いしたのは平成26年7月、日本薬剤師連盟の企画実行委員会。神谷さんは東海ブロックの代表、私は病院薬剤師会の代表でありいつも会議では丁度向かい合っている席順となり、彼の表情をよく拝見してました。会議に臨む姿は、背筋をピンと伸ばし、身だしなみはいつもきちんとしており、ネクタイがとてもお似合いな若手のホープでした。会議では、トップバッターで発言する事が多くとても鋭敏であり、話す際にはソフトな口調で分かりやすい言葉を使って説得力がありました。また他の委員から発言する時は、相手の顔をきちんと見て、ときおり笑顔で話を聞いている姿が印象的でした。直接お会いして話をすると「堅い」と言うよりは「ソフト」と感じますが、すべてにおいて熱い情熱を持ち合わせている人です。

し参加者の意見はバラバラで意見がつかれ収集がつかない時が多く、苦労していました。そんな中で神谷さんは、参加者全員の発言をうまく引き出し中立的な立場にいな「目指すゴール」をさりげなく導き出し、会議終了時点では参加者が同じベクトルに向いている事を何度も経験しました。柔軟性と高いコミュニケーション能力を持ち合わせていました。

③ 製薬会社、保険薬局、青年会議所、市薬剤師会などの様々な経験から豊かな人間性、健康な生活を守る使命感、責任感及び高い倫理観を有している神谷さんはまさに適任だと感じました。企画実行委員会では、以前からこの日を待っていました。

④ これからの薬剤師は対人業務の充実、医療安全の確保を前提とした対物業務の効率化・高度化、地域における薬剤師の活用、薬局機能強化が求められており、制度が大きく変更される事が予想されます。その中でしっかりとリーダーシップ(発想力・決断力・行動力)を取って欲しい。

⑤ 薬剤師議員は絶対に必要。みんなで応援しましょう。

心ひとつに、みんなの神谷、みんなで神谷！

◆小屋敷淳子さん



山口県薬剤師連盟 幹事長 / 日本薬剤師連盟 企画実行委員

① 基本的に真面目ですが「堅い」ということはなく、むしろとても柔軟で、相手の話をしっかり聞きとる状況でも臨機応変に、相手の立場に立った対応ができる方です。会議の時などは冷静沈着ですが、飲み会ではお茶目な一面を惜しみなく発揮する、いじられ・いえ、愛されキャラです。

② 日本薬剤師連盟の企画実行委員会では



企画実行委員と共に(左から4人目が神谷副会長)

いつも熱い議論が交わされあちこちから意見が飛び交う中、神谷先生は笑顔で「はい」とそっと手を挙げ、指名されてから発言される姿はとても印象的で、私はその神谷イズムをひそかに継承しようとしていますがこれがなかなか難しい！

③ 日薬連盟で共に活動をしていく中で、神谷先生が組織内統一候補になってくれたらと願っていたので、よほど決意してくれたという思いでした。候補に決まった時の企画実行委員会のグループラインでは、一緒に戦おう！と委員メンバーが心をひとつにしました。皆同じ気持ちだったんだな。

④ 現場出身であることがなよりの強みである神谷先生には、これからは現場目線で現場の思いや声をしっかりと受け止めて活動していただくと期待しています。

⑤ 神谷まさゆき先生のキャッチコピーは「かがやけ みらいの やくきょうかい」ですが、輝く未来がやってくるかどうかは私達にかかっています。いま頑張るのは私達です。神谷先生に対しては「頑張ってください」ではなく、「一緒にがんばりましょう」という気持ちで支援していただきたくお願いいたします。

編集後記

選挙と父

令和元年に編集後記を書いてから一年半が過ぎ、当時は文中でコロナ禍の収束を願ったが、未だにそれは叶いそうもない。そんな中、掲載された神谷副会長の物語を拝見し、私も父について書こうと思いついた。

貨物列車の機関士だった父は、当時盛んだった組合運動に情熱を注いだ。ひとたび選挙となれば、組合が推す候補者のために我が家は選挙事務所と化し、昼夜を問わず組合員が手弁当で集まり、名簿やポスター、ビラ等での踏み場もなくなった。終始罵声が飛び交い、「電話作戦」のため家の電話はつながらなくなり、終盤に入ると候補者本人が宿泊したこともあった。

程なく国鉄に民営化の波が押し寄せ、組合の旗頭だった父は冷遇され機関士の職も遠のいた。心血を注いだ父に対して救いの手は差し伸べられず、心なしに荒れた酒も多くなった。

退職した父と連盟活動に関して話す熱に応じて自然と声高くなる。曰く「なぜもっと厳しく一票の票読みをしないのか」「なぜもっと運動を強要しないのか」「お前らの運動は児童に等しい」とにへもない。

父にとって、当時の活動をそこまで駆り立てたものは一体何だったのか、私にはよくわからない。ただ愚痴も言わず楽しげに語る父を見ると、損得など些末なことを論じるのは無粋に思えてしまう。そして今年の7月には、自分にも父のようにあの満ち足りた顔で酒杯を交わす日が来ることを願っている。

(M.K)

広報委員

- 鳥海 良寛、石井 甲一
- 大澤 泰輔、丹羽 松弘
- 橋本 昌子、加茂 雅行
- 和泉啓司郎、渡邊美知子